

産業建設委員会会議録

日時 令和4年1月27日（木曜日）

午前10時開会 午前10時30分閉会

場所 第1委員会室

日程

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議・説明事項

(1) 令和4年第1回臨時会上程議案等について

①専決処分の報告について（和解について）

4 閉会

出席委員（8名）

委員長 平石 勝司

副委員長 柏村 忠志

委員 内田 卓男

委員 寺内 充

委員 矢口 清

委員 柳澤 明

委員 小坂 博

委員 勝田 達也

説明のため出席した者（3名）

副市長 栗原 正夫 産業経済部長 佐藤 亨

農林水産課長 黒須 清一

傍聴者 0名

事務局職員出席者 松本 裕司

○平石委員長 ただ今から産業建設委員会を開催いたします。令和4年第1回臨時会上程議案等について、①専決処分の報告（和解）について、執行

部から説明願います。

○黒須農林水産課長 農林水産課でございます。専決処分の御報告がございます。当報告につきましては、公用車による交通事故に係る損害賠償の和解に関する専決処分の報告でございます。事故の概要でございますが、本年8月3日に茨城県土浦合同庁舎の駐車場内通路において、農林水産課職員が運転する公用車が、相手方車両と接触し、車両の一部を破損すると共に、運転手が首に怪我をしたものでございます。和解概要につきましては、相手方に治療費用の99万8,282円の支払で、これにより相手方への人身賠償にては和解済みとなります。報告は、以上でございます。今後は今まで以上に運転には細心の注意を払い、安全運転を心掛けます。よろしく願いいたします。

○平石委員長 ありがとうございます。この件について、御質問等ありますか。

(「なし」との声あり)

○平石委員長 執行部のほうから、ありますか。

○佐藤産業経済部長 執行部からは、その他ございません。

○平石委員長 委員のほうから、ありますか。

○内田委員 副市長、新治で中内という会社が、ゆう・もあ村を持っていたところ、そこにグランピングのログハウスを建てていると思うんだけど、それは当然、観光に益するものです。それと、新治段々と称される採石場、それも・・・さんが所有していたと聞いている。聞くところによると、土浦市に貸してもいいという話もあるのです。あともう一つ、塚田陶管が持っているゴルフ場跡地。90町歩だったっけ、小野のこっち側のトンネルに向かって、右側のほうが多いと思うのですけれど。副市長、執行部の皆さんもこれを知らないと、夢も見られないし、話もできないという受け身の状況になっている気がして、しょうがないのです。そういった意味で、我々議員も現地を知る、見ると、おそらく半日や一日要するスケールだと思いますが、これを委員会の皆さんに申し上げたいし、執行部も一緒に、皆さんで現地視察を行うことを希望したい。新治段々のほうは、10年くらい前になりますか、東郷副市長が担当部長だったとき、議会と執行部と一緒に現地視察をやっているんですよ。そして、コンサルタントを使って成果品ができたはずで。それを現在、我々委員が知らないんですよ。その成果品を我々に配っていただきたいというのが一つ、そして、その時代は今と違う。自転車もトレッキングコースも全く頭になかった時代だった。今になって考えると、それ

らは土浦市にとって重要な時期だと思うので、是非、やってみてはどうだろうかと思っているんですよ、副市長。御協力願えたらと思います。委員長には、企画をしてほしいです。オミクロン対策もありますが、アウトドアです。もう一つ、日立建機で2,500人の従業員のことで、新規採用が500人で2,000人が兵庫県と龍ヶ崎から来るという話がありましたね。大事なのは、居住です。その二千何人が、全部土浦の外に住まわれたら、土浦の恥だと思いませんか。一部上場企業の研究者で、ある意味羨ましい水準の人たちが来るってことなんだよ。それに対して、何もせず手をこまねいてはいけない気がするんだよ。従業員の居住の受け皿をどう土浦が持つか、これが重要なことなんだ。大変なチャンスなんだよな。マンションばかり、分譲地ばかり、彼らが欲しいと思う物件がいくつありますか。ないんですよ。4メートル道路では、家を建ててくれないからね。俺、何回もこの話を副市長にしていますが、4メートル道路の宅地では、彼らは住んでくれないんですよ。そのとき土浦は、どう受け皿を作るんだ。まだ2年くらいありますから、早急にやるべきことをやっていかないと、土浦の100年の恥になる可能性があると思うんです。

○栗原副市長 始めのほうのお話は、スケールの大きな話ですので、現地のことも含めて、調査研究して、よく検討してみたいと思います。2点目の住宅供給については、どういう形で市役所がサポートできるのかというのがありますけれど、民間企業のほうで社員が増えると分かっているわけですから、どんな形で住宅供給がなされていくか、十分予測し、考えていきますので、よろしくをお願いします。

○内田委員 始めの話ですが、スケールについても現地を知らないのだから、テーブルで議論しても始まらない。まず、知るということで現地の確認をお願いします。それと、受け身でなくて、土浦に土地を作りやすくするというのは市がやることで、副市長はそういうのが得意でしょう。今のことは新年度の市勢方針に入れたらいいんじゃないかなと思うくらいでしたので、よろしくをお願いします。

○柳澤委員 今の2番目の話について、市のほうは具体的な計画はないし、意欲も感じられない。日立建機にはパイプを持っている人が多いはずだ。2,000人が全国から土浦に転入してくるとして、確かに優良な宅地というのは、ちょっと見当たらないですよ。お願いしたいのは、直接、日立建機と話してもらって、どのくらいの人が土浦に移動してくるのか。衣食住など、2年あるのだから、こちら側から企業のほうにアクションを起こして、転勤

してくる社員の人の意向を聴くとか、永住するかなど、把握する。例えば、県で桜川の浚渫をやっていますよね、あの浚渫土をどうするか、虫掛の田んぼを埋めるような話なんだけれども、蓮河原を埋めて宅地にするとかいう下地でもあれば、転勤してきた人も、当座はアパートやマンションに住んで、それから宅地をどうですかとか、いろんな話ができると思うんだよな。2,000人の転入は、まれに見ないし、大きいと思う。家族も来れば倍にもなる。だからこれは、まずは日立建機のほうと話をして、会社としての希望、転入してくる人の希望を聴いたらいいと思う。でないと、みんなつくば市に持っていかれちゃうよ。つくばは土地あるんだから。そう思います。

○栗原副市長 日立建機側から情報収集をして、できる限りのサポートをしていきたいと思います。

○平石委員長 その他、よろしいでしょうか。これで産業建設委員会を閉会します。お疲れ様でした。